

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名 一般国道47号 <small>たかや</small> 高屋道路	事業区分	一般国道 事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自： <small>やまがた もがみ とざわ ふるくち</small> 山形県最上郡戸沢村大字古口 至： <small>やまがた もがみ とざわ ふるくち</small> 山形県最上郡戸沢村大字古口		延長 3.4 km
事業概要 新庄酒田道路は、新庄市から酒田市に至る約50kmの地域高規格道路である。 高屋道路は、新庄酒田道路の一部を形成し、最上郡戸沢村古口地区を結ぶ延長約3.4kmの自動車専用道路である。		
H18年度事業化	ー 都市計画決定	H22年度用地着手
全体事業費	約217億円	事業進捗率
	(平成31年3月末時点)	供用済延長
		ー km
地域の防災面の課題 ・現道の国道47号では事前通行規制区間（連続雨量150mm以上）が存在。また自然災害等による全面通行止めは過去30年間で60回発生。 ・周辺に代替路線がなく、災害等による通行止が発生した場合、迂回に要する距離は通常期の約3倍を要する。 ・線形不良箇所が多数存在し、特に冬期の死傷事故率は、新庄酒田道路並行現道で最も高い。 ・このため、戸沢村の日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、地元自治体等からも改善の要望も出されているなど地域の喫緊の課題となっている。		
課題を踏まえた対策・事業内容 ・事前通行規制区間縮小のため、約3km区間を別線整備。 ・全線で現道対策を行う場合、大規模な法面对策、現道嵩上げ、線形改良工事などが必要となることから別線による整備とした。		
事業の効果等 ①災害等による迂回解消を含めた走行時間の短縮 ・新庄市から酒田港（現況67分⇒整備後66分）へのアクセス向上が見込まれる。 ②災害への備え ・現道等の防災点検要対策3カ所等が解消される。 ③高次救急医療施設へのアクセス性向上 ・新庄市から日本海総合病院（現況61分⇒整備後60分）へのアクセス向上が見込まれる。		費用 (残事業)/(事業全体) 84/217億円 (事業費：70/203億円 維持管理費：14/14億円)
関係する地方公共団体等の意見 ○山形県知事の意見 1. 「対応方針（原案）」案のとおり「継続」で異議ありません。 2. 一般国道47号高屋道路は、格子状骨格道路ネットワークを形成し、災害時の広域的代替機能の強化や救急医療活動への支援はもとより、産業、経済、観光の振興を図るためにも極めて重要な路線であり、コンテナ貨物の取扱数量や外国クルーズ船の寄港回数が増加する酒田港の利活用の面からも、大きな役割を担うものです。 本県では、「やまがた創生総合戦略」や「山形県道路中期計画2028」において“高速道路・地域高規格道路の整備”の重要性について盛り込んでいるところであり、引き続き、コスト縮減にも十分に配慮しながら、早期完成を目指すとともに、着実な予算の確保をお願いします。また、併せて、一般国道47号の事前通行規制解消に向け、本事業区間前後区間についても、早期に事業に着手するようお願いいたします。 ○以下の団体等から高屋道路の整備促進について要望あり ・国道47号・新庄酒田地区地域高規格道路整備促進期成同盟会 ・石巻・酒田間地域連携軸強化促進協議会 ・戸沢村・庄内町地域連携フォーラム実行委員会 ・最上地方町村議会議長会、庄内地方町村議会議長会 ・石巻・大崎・新庄・酒田商工会議所		
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。		

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

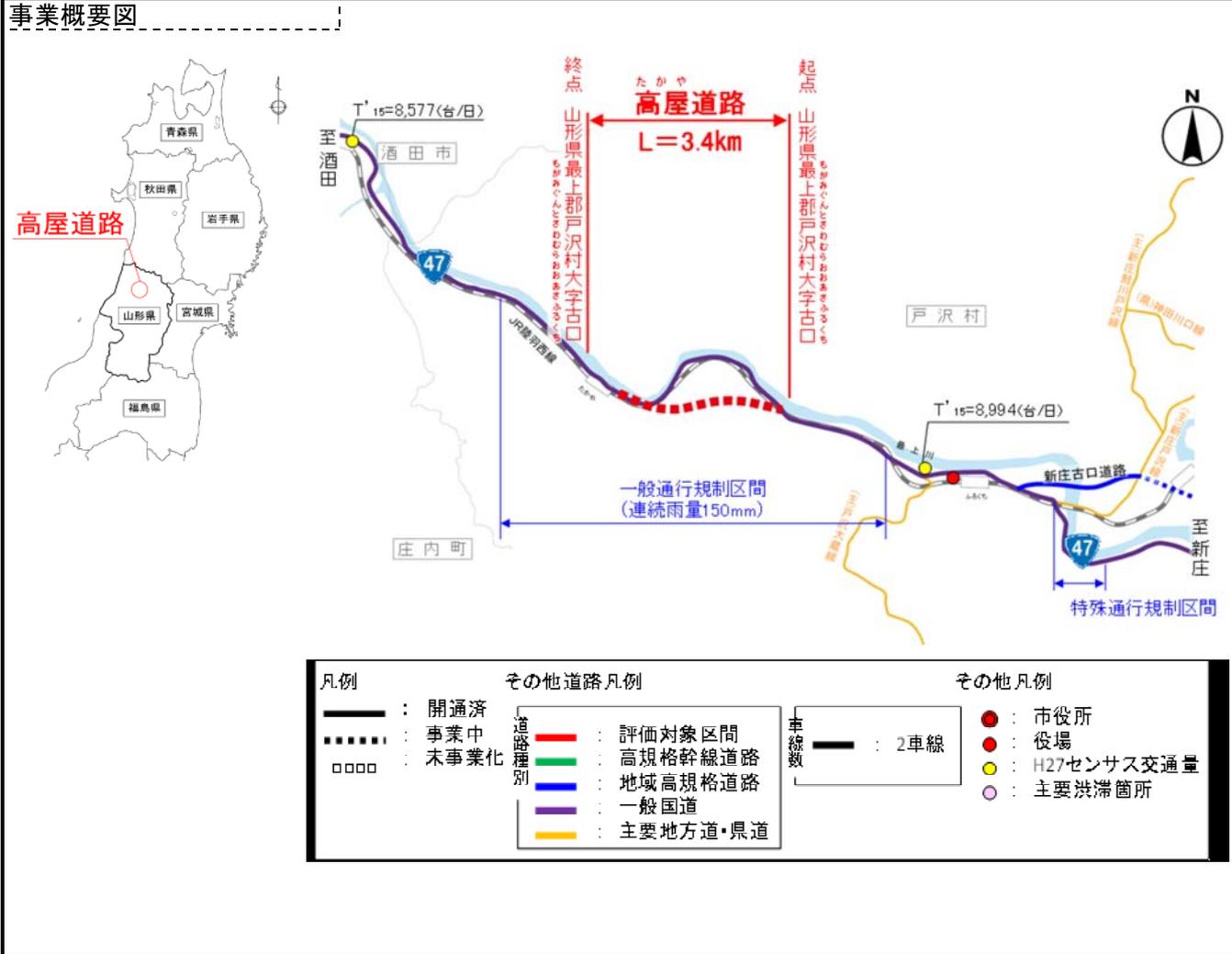
事業の進捗状況、残事業の内容等
 ・平成18年度新規事業化、事業進捗率 約69%（うち、用地進捗率 約63%）
 ・残事業の内容（トンネルL=3km等）。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
 ・事業の進捗に係る問題はない。

施設の構造や工法の変更等
 ・トンネル湧水処理計画を見直すことによるコスト縮減。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
 最上地域と庄内地域の連携の強化を図るとともに、災害、事故による通行止め時の代替路の確保、冬の安全性向上等のため、早期整備の必要性が高い。



※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。